本堂 建立基本構想 固まる

福泉だより

金澤山　円能院　福泉寺

<6号>
真言宗 智山派
円　能　院
川崎小田

ご挨拶

平成13年7月に円能院本堂建立委員会が檀徒総代・世話人を中心に発足いたしました。

近年の本堂建設の平均的規模を、当院の檀家数で割り出した予算をお知らせし、皆様にご寄付のお願いをさせていただきました。皆様のご理解とご協力を持ちまして、総額4億2千万円の申し込みを頂き、7月末の時点でのご寄付納入額が3億円を超えることが出来ましたこと、心から御礼申し上げます。

その間委員長・副委員長を核とする「六人委員会」を頻繁に開催し、顧問を専門家に依頼いたしました。その後は別記のような経過をたどってまいりました。

これによりまして、平成18年には早々に準備作業を開始し、4月には建築作業を開始する予定です。このため、工事期間中の約2年間は寺の行事執行上にも何かと支障があることと思います。

この点何卒ご了承を頂きたく、お願い申し上げます。

平成17年9月16日
円能院住職　佐藤隆賢

本堂建立委員会の経過報告

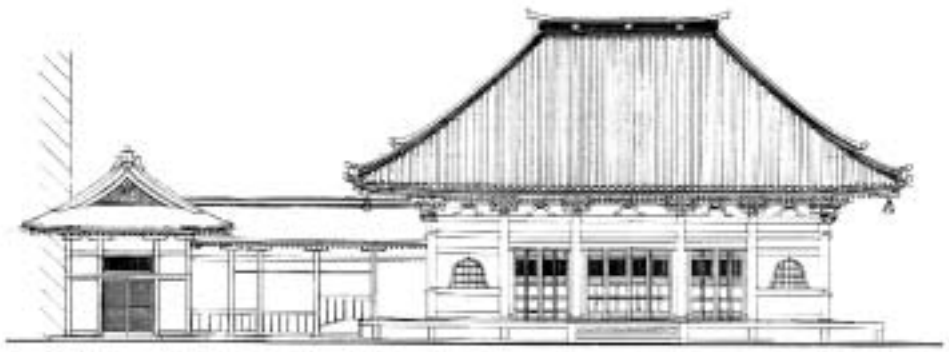
平成16年8月

副住職の知人より株式会社ユウ・コーポレーション（本社・京都）小西敏治先生をご紹介いただき、建築委員会顧問に就任していただきました。

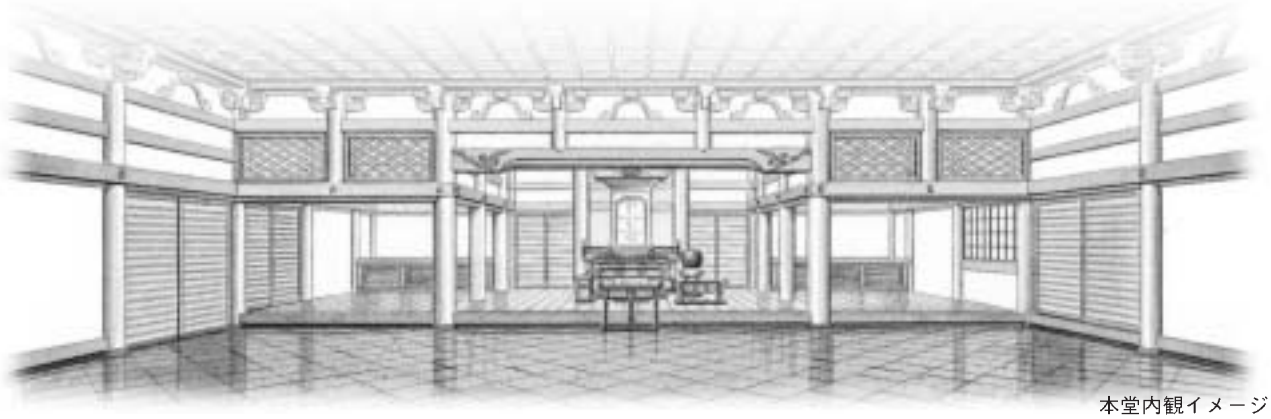
小西敏治先生は京都に代々続く工務店を継がれ、法然院（銀閣寺の隣）を始めとした寺院・住宅・店舗の設計・施工をされる一方、東京理科大、株式会社ワコール、家庭教師のトライ等の建築顧問として各社建築のコンストラクション・マネージメントを全国的に展開されている方です。

コンストラクション・マネージメントとは、設計・施工業者と施主の間に入り、施主と業者に対して中立的な立場から両者の間を調整する役割を担うお仕事です。

小西先生より、本堂建立に際しての設計・施工業者選定方法、設計・建築構法などのご説明を頂き、それを基に本堂建立委員会で検討の結果、設計・施工業者は、別々の業者に依頼するのではなく、設計施工を同一の業者とし責任を一本化し、効率の良い一括発注方式の選択。また、業者選定に際しては、寺院建築の実績があり、完成後のアフターケアーの充実している業者を数社選び出し、各社参加のプロポーザル方式を採択しました。



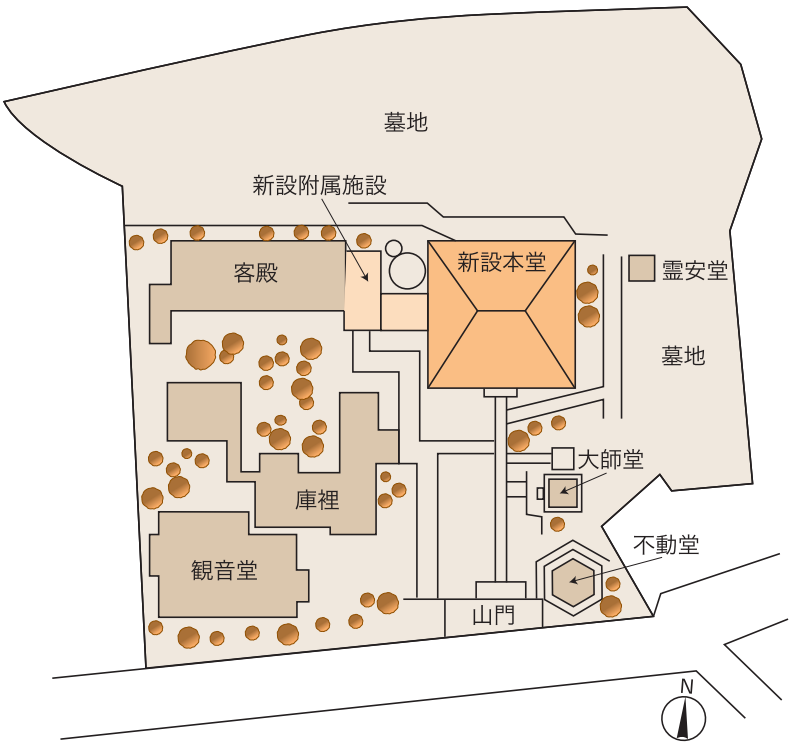
プロポーザルとは、特定数社の業者に対して施主の条件を満たした基本的な条件を提示し、それに対して、提出された提案を検討したうえで、業者を決定するという方法です。この方法によりますと、各業者の設計・施工能力の比較検討と意欲の比較ができます。また、工期と工費の限度額を提示しますので、工費の追加などを回避することが可能になります。



本堂内観イメージ

平成17年4月

上記の条件を満たしたゼネコン4社に対して、11日に当院本堂建立プロポーザル参加依頼書を送付し、3社から参加の返事を受けました。建立委員6名の立会いの下で参加業者3社に対して現場説明会を23日に行いました。



6月14日に3社から提案書が提出され、16日に建立委員会6名、小西先生、住職・副住職が3案を慎重に検討し、満場一致で飛島建設株式会社からの提案が最も望ましいとの見解にいたりました。

7月29日に開催された総代・世話人会に飛島建設役員・関東支店長大丁佳雄氏以下7名にご参加いただき、新本堂建立計画についての詳細な説明を頂き、総代世話人会としても、設計施工を同社に依頼することで合意を得られました。これをもって同日付で、「円能院本堂計画に伴う先行着手指示書」を取り交わしました。

「円能院本堂計画に伴う先行着手指示書」とは、正式契約前に設計を依頼するものであり、事実上の契約ではあるものの着手金などの支払いは発生しないものです。

8月18日、飛島建設株式会社より設計責任者を含む6名が来院され、4時から小西先生と現本堂内部を実測し、6時から建立委員（6名）、住職・副住職による新本堂の細部にわたる検討を行いました。この打ち合わせとプロポーザルで提案されたものに基づいて、9月29日には、本堂の基本設計図ができあがる予定になっております。

本堂内部の荘厳に関しては住職・副住職に一任されておりますので、小西先生、飛島建設株式会社設計部大野豊部長と検討を今後も継続いたします。

本堂の基本構想について

古来、寺の本堂は僧侶の修行道場として建設されましたから、本尊を中心とした所定の修法をする目的にかなった設備が基本に考えられてきました。

特に真言宗におきましては、ご本尊を供養するための大壇であるとか護摩壇を構えた道場形式になっていました。

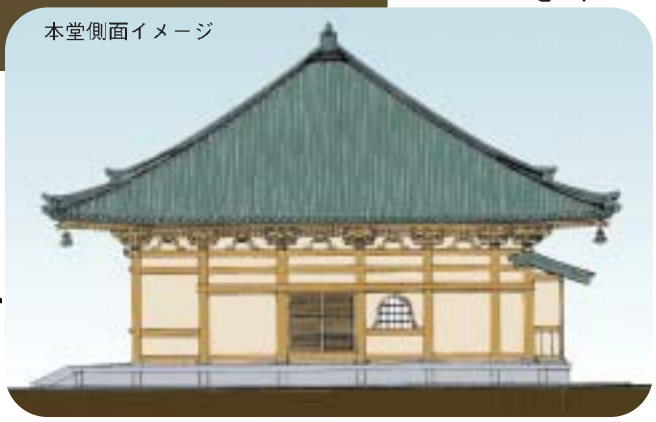
しかし現今では、より多くの檀信徒の皆様を収容するとか、椅子席にするなど、仏事・生活様式の変化に即応した様式に変化してまいりました。

当院におきましても多くの方に快適にお参りしていただけるように、冷暖房完備、バリアフリーなどの今日的な建築にするように検討しております。

さらに防火・地震対策に関しましても最新の技術を導入する考えでおります。

本堂正面イメージ

本堂側面イメージ

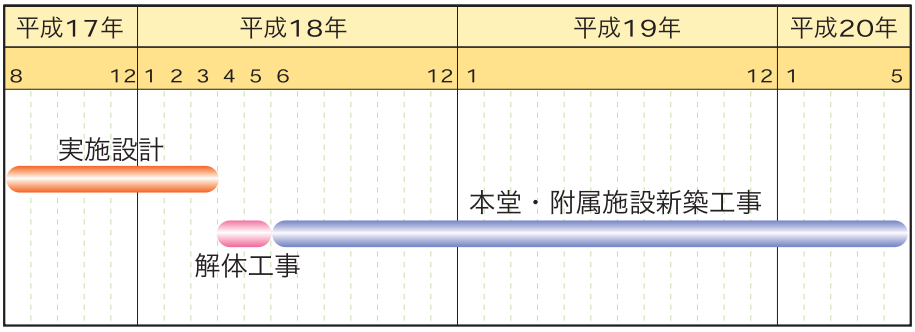


建築期間中のお願い

建築工事が開始されますと、作業車の出入りや資材の保管のために境内狭隘となり、檀信徒の皆様にはご不便をおかけすることになります。

特に彼岸会やお盆をはじめ、当院の年中行事も従来のように執行することが困難になりますので、２年間の工事期間中のご不便をご理解願います。

発行所
金澤山 圓能院 福泉寺
川崎市川崎区小田
1丁目25番12号
電　話/044（333）4476
FAX/044（366）6972

発行人
佐　藤　隆　賢

工　程　表